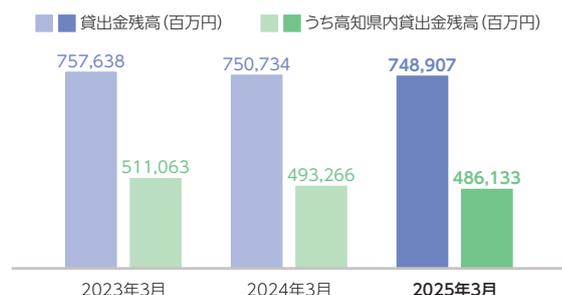


財務ハイライト

地域に密着した営業活動を展開してまいりました結果、当事業年度の業績は以下のとおりとなりました。

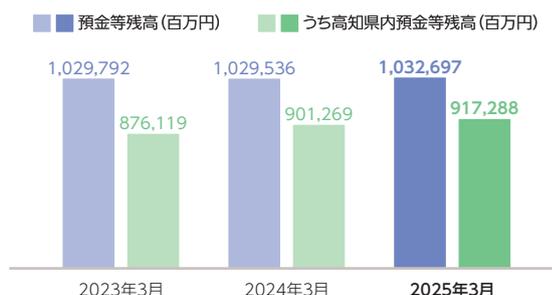
貸出金

貸出金残高は、「運輸業、郵便業」「金融業、保険業」等が増加しましたが、「各種サービス業」「地方公共団体」「電気・ガス・熱供給・水道業」等が減少したことから、前期末比18億円減少して7,489億円となりました。



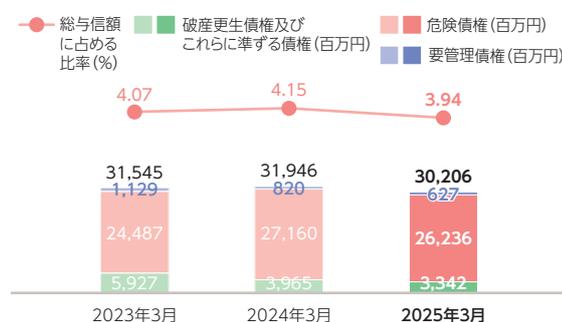
預金等 (譲渡性預金含む)

預金等残高は、「法人預金」「個人預金」が減少しましたが、「公金預金」が増加したことから、前期末比31億円増加して1兆326億円となりました。



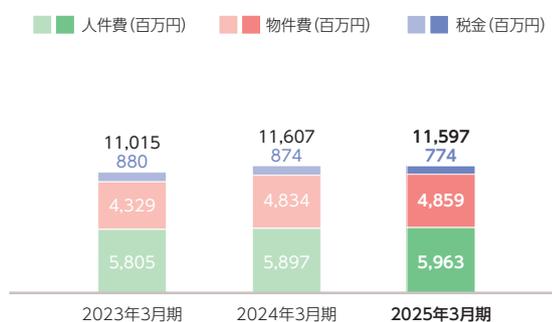
金融再生法開示債権及びリスク管理債権

金融再生法開示債権及びリスク管理債権の合計は、前期末比17億40百万円減少して302億6百万円となり、総与信額に占める比率は前期末比0.21ポイント低下して3.94%となりました。



経費

ベースアップ等による人件費の増加等がありましたが、経費全体では前期比10百万円減少して115億97百万円となりました。



コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、コア業務純益は21億48百万円、経常利益は10億59百万円、当期純利益は7億90百万円となりました。



自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期末比0.51ポイント上昇して8.82%となりました。

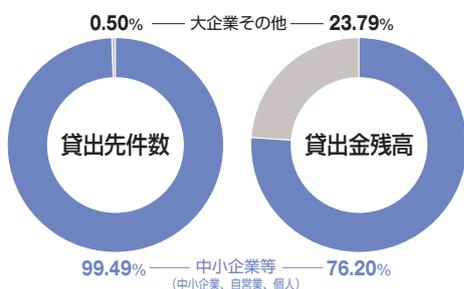


●コア業務純益

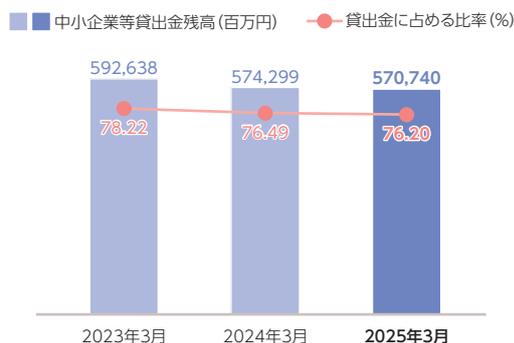
コア業務純益とは、資金の運用収支、手数料等の収支、外国為替や債券等の売買の損益等の利益から債券に係る損益と経費を差し引いて算出される利益で「銀行の本業での業績を表す指標」といわれております。

中小企業等に対する貸出金

中小企業等に対する貸出金の比率
(2025年3月末)

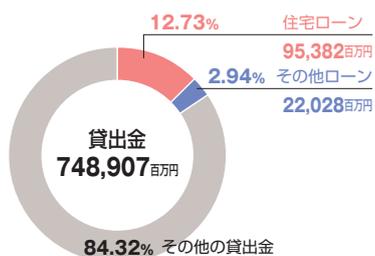


中小企業等に対する貸出金残高の推移

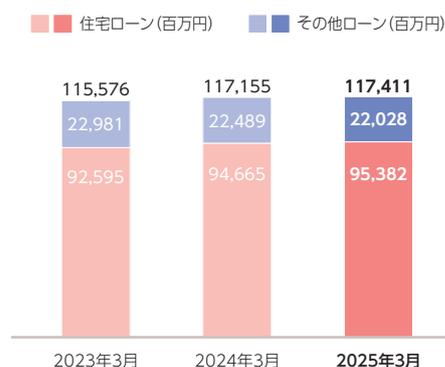


個人ローン

個人ローン(住宅ローン・その他ローン)残高の比率
(2025年3月末)



個人ローン残高の推移



個人預金の推移

個人預金残高 (百万円) / 個人預金比率 (%)



預り資産の推移

投資信託 (百万円) / 生保窓販 (販売累計額) (百万円) / 国債 (百万円)

